

ほなみ医療福祉グループ 医療法人全人会

医療と福祉が連携したサービスを提供できる職員を育成

医療・福祉

取組みの概要

日々の介護業務を科学的に分析し、プロの介護職員を育成

当グループの企業目的は、①社会貢献、②人材育成、③安定した事業継続の為に収益性の確保の3つです。

医療・介護の事業については、職員が成長し、医療・介護のプロフェッショナルになることで、利用者の方々に対し、よりよいサービスを提供できると考え、「人材育成」「教育訓練」において、力を注いでおり、主に下記のとおり研修を実施しています。

①外部研修：大阪府の「認知症介護実践者研修」をはじめ、研修会社の「リーダー研修」の受講等、キャリアに応じた人材育成計画を実施しています。

②内部研修：介護の現場にいる職員は、利用者の身体や心の状態の些細な変化の把握を行い、科学的根拠（水分量、体温の変化、身体の特長など）をもとに考察し、利用者の状態が改善するように目標設定・計画作成・実施・評価していきます。担当職員は、この「事例」を、定期的に行われる「事例発表会」において、発表・報告します。医師・看護師・介護職員等がそれぞれ助言を行い、介護の現場に反映しています。

取組みの契機

国の介護医療方針の変更により介護現場の医療ニーズが高まる

平成24年の介護保険法等の改正により、今後は、病院で長期入院されている高齢者の方々のケアを在宅で行う方向で進められています。これまでの日常生活のお世話や生活の楽しみを作るといった介護に代わり、医療と連携した介護サービスを提供する必要がでてきました。

医師・看護師の助言に基づき、医療と福祉を包括した介護サービスを実施するためには、介護職員が利用者とは日々接する中で、些細な変化に気づく観察力・洞察力と、それら変化に対応できるケア能力が求められます。そのためには、知識の研修だけではなく現場の事例を踏まえた実務研修が必要となっています。

取組みの効果・実績

介護職員としての誇り醸成、国からの評価

介護は、マニュアルどおりのお世話をすることではありません。例えば、39kgに体重が減った利用者について、体重減少の影響、水分摂取量の意味、脱水症状の恐ろしさ等を理解した上で、体重減少の原因を解明し、改善のための方策を実施するというように「科学的根拠を基本として個々の利用者に対応する」必要があります。

各研修を通じ、利用者一人ひとりに「介護目標」を立て「計画」を作成し「実施」することの大切さが職員にも浸透しました。

また、事例発表会を行うことにより、他の介護事業所とは違い「私達は、医療と連携できる介護職員である」という意識が高まっています。現場においても医師・看護師が、介護職員に助言をする機会が増え、職員も前向きに知識を吸収しようとしています。

介護事業は、3K（キツイ・汚い・危険）といわれ距離をおかれるイメージがありますが、これらの取組みを踏まえ、各職員が日々の介護と医療との連携の必要性を自覚し、「介護職員」としての誇りを持つことができました。

そのほか、毎月、定期的に専門的な事例発表を行っていることが大きく評価され、平成23年に厚生労働省の「成長分野等人材育成支援奨励計画」に認定されました。

また、介護度が高い高齢者の家族や、終末期を迎える高齢者の家族からの介護依頼も増えています。



【事例発表会の様子】



取組みへの思い

事例発表をすることで、現場の対応が大事なことがわかりました。介護の仕事を通じて、人と人とのつながりの大事さがわかり、仕事に対して責任を感じ、やりがいをもちました。もっと成長していきたいと思っています。

事例発表会の準備は大変ですが、管理者や仲間にも助けてもらいながら進めることができました。自分が発表することで、文献を調べたり、パワーポイントの作成・発表の練習など、とても勉強になりました。事例発表会で、他の事業所の職員とも交流できてよかったです。



職員は…

医療・福祉の業界では、専門の知識・技術を極めれば、よいサービスを提供できるわけではありません。

医療・介護に携わる職員一人ひとりもつ人間力・感性という土台がしっかりしていないと、その上に知識・技術をのせたとしても形だけのものとなります。職員が、利用者の喜びや怒り、悲しみ、楽しみを共に感じることで、真の医療・介護サービスを提供できると考えています。

外部研修も大事ですが、一番必要なのは、日々の介護業務を通じて、利用者一人ひとりの変化に気づき目標を持ち、対応・評価・考察する「事例研修」です。事例をまとめて発表することで職員自身が「気づき」「自立する」ことを目指しています。



経営者は…

【COMPANY PROFILE】

設立：平成11年
従業員：87名
事業：医療業
所在地：大阪市西淀川区姫島5-11-27
電話：06-6460-0310
ホームページ：http://www.honami.or.jp

《会社から一言》

科学的根拠をもって考察することを徹底し、自ら考え実行する自立した職員を育成していきます。
事例を基本とした「排泄マニュアル」「口腔ケアマニュアル」等、マニュアルを作成していきます。
平成23年に「認知症学会」で胃ろう造設（胃内に管を通し、食物や水分や医薬品を流入させ投与するための処理）を実施した入居者への医療と連携したケアについて事例発表したように、今後は、その他の事例や事例に基づきまとめたマニュアルを他の学会等でも発表を行い、職員に誇りと自信をつける機会を拡大させていきます。

ワークライフ・バランスの推進

高齢者の活用策

若手社員の育成・定着策

女性社員の育成・活用策

障がいのある従業員に対する対応

中小企業の魅力発信・人材獲得策

企業内の労務コミュニケーション

非正規社員の活用策

職場の環境改善

介護サービスの分野の労務管理

職場のハラスメント予防策

メンタルヘルスケア

企業のCSR活動